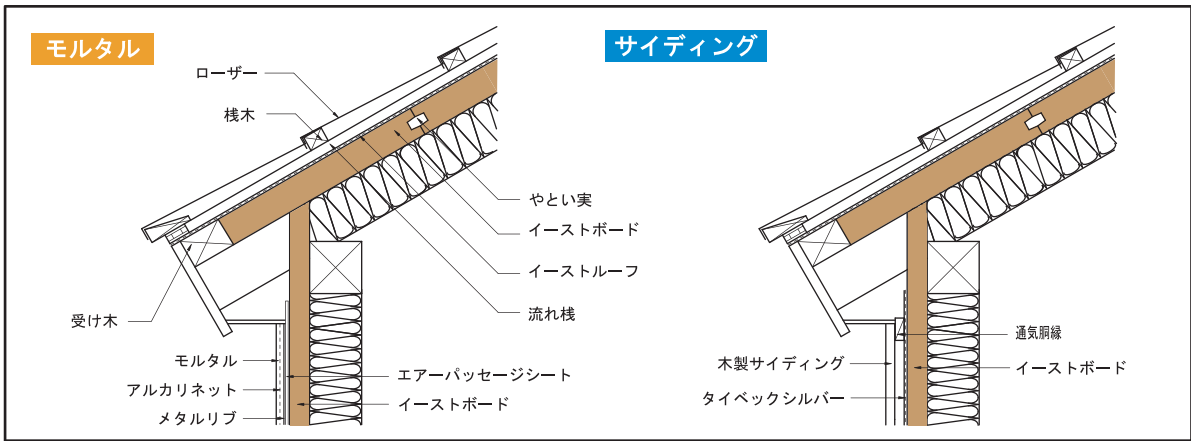


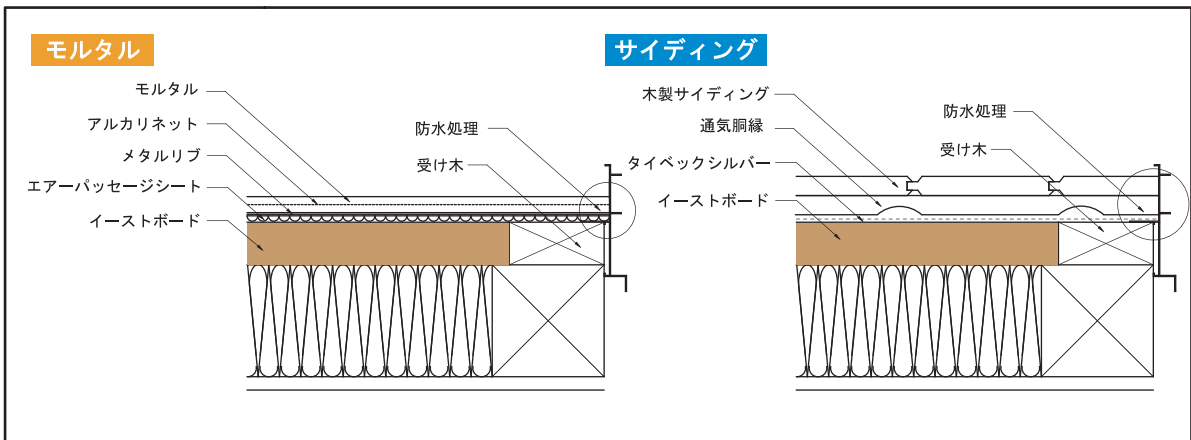
イーストボード参考納まり図



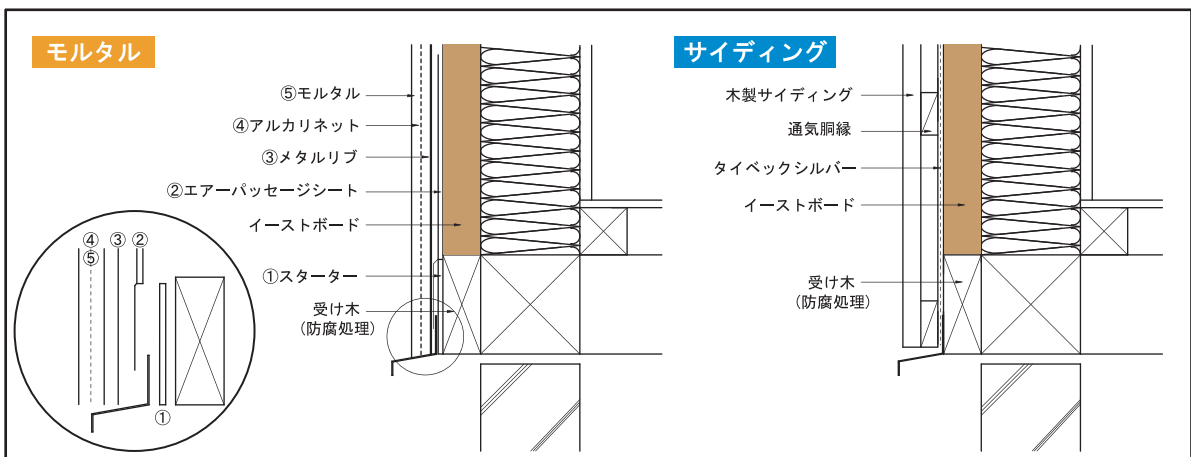
① 軒裏・軒先納まり



② 開口部納まり

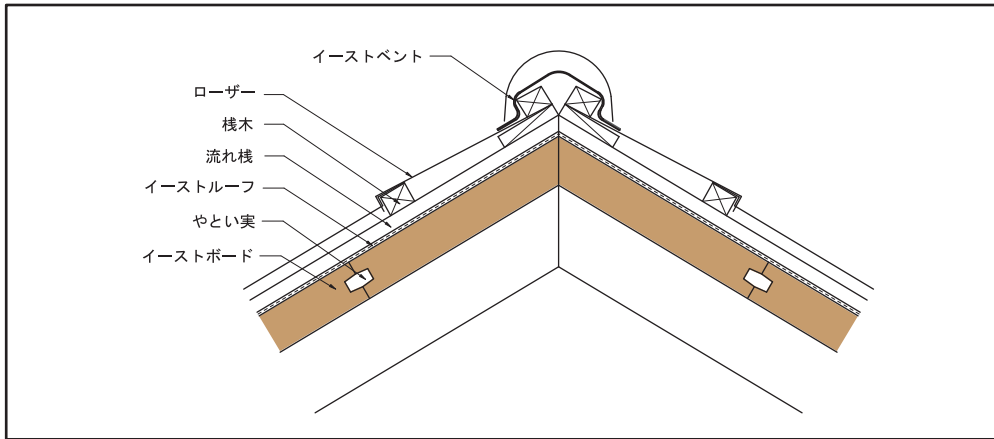


③ 土台納まり

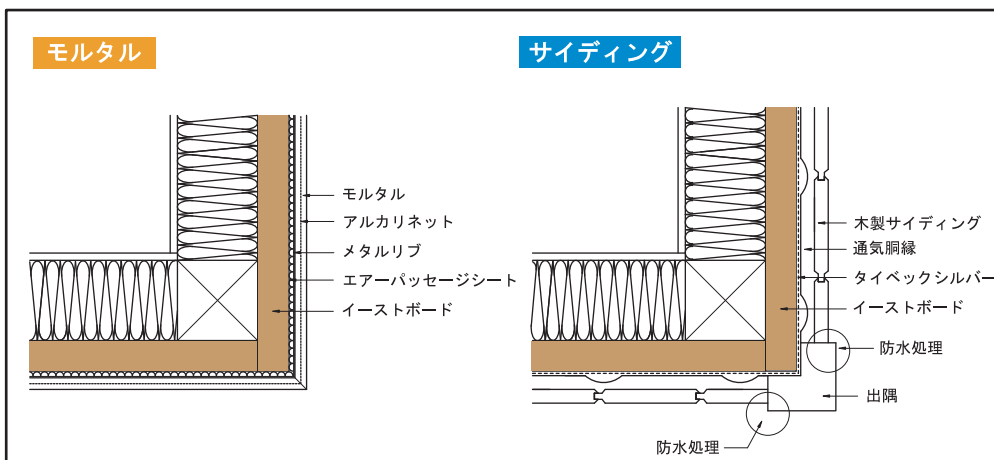


イーストボード参考納まり図

④ 棟納まり



⑤ 出隅納まり



～性能と安全を十分確保いただくために～

施工基準

- 本製品壁用 (EB-9、EB-9R) は、断熱材としての素材であり、耐力壁の機能としてはご使用になれません。
*耐力壁を必要とする場合は、より効果的な断熱・透湿性能を生かすため、また耐久性を保持するため同質素材の製品をお選びください。
- モルタル直塗り工法は住宅の耐久性を損なうためお勧めできません。直塗りをされる場合はお客様のリスクとしての仕様でお取り扱いください。
- 防火・準耐火を必要とするエリアでのご使用は、認定内容を十分ご確認の上ご使用ください。
- 施工基準は標準的な施工例であり、構造・使用部材・エリアなどによって異なりますので参考としてお取り扱いください。

取り扱い・廃棄上の注意

- 本製品は切断等の加工をしない限り特に注意する必要はありませんが、切断等の加工を行う場合は次の注意事項をお守りください。
 - ①製品を取り扱う全ての作業は粉塵の発生を最小限にするような方法で行ってください。
(特に建築現場での切断作業は粉塵が隣近所に飛ばないように配慮ください)
 - ②工場条件のもとでの切断などの作業は粉塵を除去できる排気装置を設備してください。
 - ③手動工具はよく排気されたところでの作業を行い、防塵マスク・ゴーグル・軍手など必要に応じて使用してください。
- 本製品を保管する場合は雨水を避け、通風の良い場所に保管してください。特に水濡れには注意し、直置きを避け立てかけず水平に保管してください。
その際、下場には角材などの上にベニヤなどの平らな養生の上に置き、本製品の曲がりなど起きないように処置をしてください。
- 本製品を廃棄する場合は、一般ゴミの可燃物(木・竹)になります。焼却時に木材等と同様に有害ガスは発生しません。
なお、本製品を建設業(工作物の新築、改築または除去)に伴って廃棄する場合は産業廃棄物となりますので「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に基づき適切な処理を行ってください。
*リサイクルをご希望の場合は担当営業員までお尋ねください。

施工上の注意

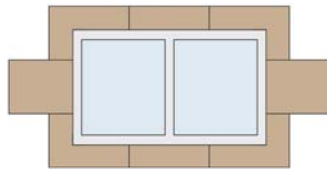
- 本製品屋根用 (EB-4) を直接垂木に野地板兼用として使用する場合、垂木のピッチ455mmにおいて耐踏み抜き性「静加重120kg/80mm径」の強度までは十分耐える構造となっておりますが、施工時には特に注意の上作業を行い安全には十分なご配慮をお願いいたします。
- 本製品屋根用 (EB-4) は施工時1~2回程度の急激な雨には耐える処置として撥水コート処理を表裏施しております。しかし、より耐久性を保持させるためすみやかに防水シート施工を行ってください。
- 本製品は木質繊維であり製品自体のステーブル・ビス・釘等の保持力はありませんので必ず下地までしっかり止める施工を行ってください。

イーストボード施工要領

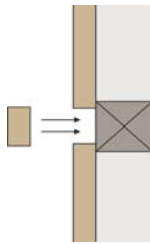
【壁用】



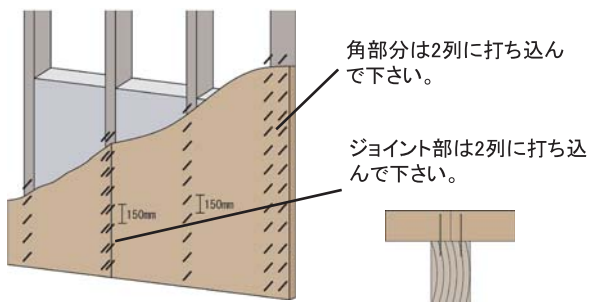
- ちどり張りをして下さい。
縦と横のラインを揃えずに目地がずれるように張ってください。
縦方向でもかまいません。



- 開口部は切り込みをして下さい。
開口部の角にジョイントがあるとモルタルなどクラック発生の恐れがありますので必ず切り込んで下さい。



- 桁部分の施工は最後にして下さい。
1-2階の桁部は躯体の荷重により下がる可能性があり、外壁材に影響を与える恐れがありますので、この部分の施工は必ず時間をおいて最後に施工して下さい。

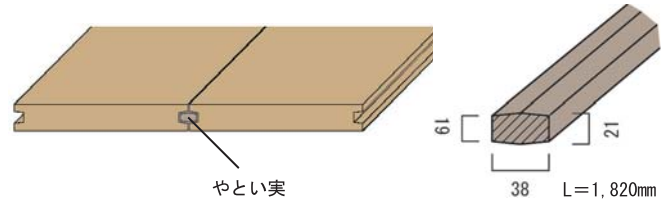


- ステープル止め
ステープルは下地のある部分に縦横150mmピッチで打って下さい。ボード表面から約2mmほど沈むくらい打ち込んで下さい。ステープルは75mm以上を使用。

【屋根用】

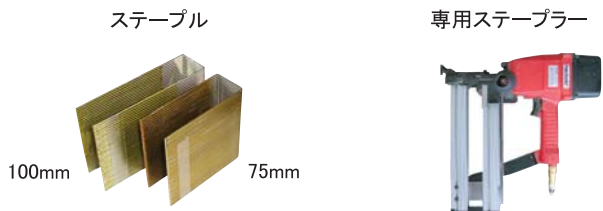
- ちどり張りをして下さい。
壁用と同様に縦と横のラインを揃えずに目地がずれるように張ってください。
- ※表裏撥水コート処理をしていますのでリパーシブルでご使用になれます。

- 垂木のピッチは455mmで施工して下さい。



- やとい実
4辺へ差し込んでください。
- ステープル止め
壁用と同様にステープルは下地のある部分に縦横150mmピッチで打って下さい。ボード表面から約2mmほど沈むくらい打ち込んで下さい。角部分、ジョイント部は2列に打ち込んで下さい。ステープルは100mmを使用。

【部材】



- ※イーストボード留めには、ステープルの他に
 - ・鉄丸釘 壁75mm以上、屋根90mm以上
 - ・ビス 壁75mm以上、屋根90mm以上も使用可能です。ピッチは150mm以下。

【イーストルーフ施工のお願い】

- ・イーストルーフの施工はステープルの保持力が少ないため
 - ① ステープルは1025J(25mm)程度をご使用下さい。
 - ② 流れ桟を即施工して下さい。
- ・流れ桟、瓦桟を施工する際には必ずビスをお使い下さい。

